

刷工は出富工場に於て最も重大なる仕事を取扱ふものなるべし之れが其業は引りし全職工のり其業ありしに在りたる存存して善後次第に其業付す其心身を慮中なり今社例は事の大なるも見て又之の及御事の全口の的なるも此に出来得る限りは譲歩し以て協するを意向あり

職工側の意見

職工側の意見は、園車印刷労働組合印刷工職合会としての二應答を交り、幹部連は、其業が勤労に努めしつゝあり

大正十三年一月九日午後一時迄の協議

202

博文館印刷所職工労働争議の件

一、日提出したるし西女給條件の回答を待ちつゝ職工は九日定刻に即入場したるも昨日の印刷工のみのり其業は機械料百二名を有する十名の職工も其業と化し同如く罷業を敢行し亦印刷所に雇合九名の交渉生委員は九項目の要求書に付き会社例と折衝すると同時に午後より一般職工は演説會を開催既にして氣勢力を揚げつゝ交渉の経過を待ちたるが午後三時に至り會社例は前記生委員に對し回答を要するを委員は之れを一報に報告せしむるも職工側は全高を容認する迄に交渉を持続すべしと務し譲歩せずとせしむる九名の委員は亦二生委員と共に再び交渉を進め會社の態度は明